

2013-14年度

# ガバナー公式訪問

## クラブ協議会

とき 平成25年10月2日(水)

ところ マロウドイン 飯能

### 飯能ロータリークラブ

#### ●飯能RC会長／吉田武明

当クラブは本年度50年。長い歴史の中で、先達のぬくもりと連携のあるクラブを作って頂いた。その間、当クラブからは分区代理、ガバナー補佐を6名(4名物故会員)輩出。現会員では吉田健、中里昌平会員が経験者。

50年間には紆余曲折もあった。クラブ数を増やすという拡大の荒波を受けた時期もあったが、良識ある先輩達が頑なに1クラブを維持しようということで、結果とすれば非常に賢明なご判断だったかと思う。会員は現在57名。年齢的にもバランスのとれた、人数的にも適当な規模のクラブだと思う。次の山川年度に50周年記念事業を計画中(中里昌)実行委員長)。90を過ぎてお元気の橋本パスト会長はS54年の入会で無遅刻無欠席、ロータリーの鏡だと思っております。

飯能は「森林文化都市」を宣言した、森林が約7割を占める自治体。以前は繊維と木材のまちとして活況を呈したが、現在、繊維産業は(株)マルナカ1社。中里昌)会員は一人で繊維を背負って頑張っている。スカイツリー従業員は全てマルナカ製。旧飯能市内には85の材木の事業所があった(現在22)。時代の変遷を感じるが、1つには住宅の建築様式・仕様・建築基準法等の変化があった。そういった変化を先取りしながら事業運営をしないとこういう結果が出るのかなどという感じもしている。中心街が苦勞されている中、細田(吉)パスト会長が一般社団法人「奥武蔵・天覧山周辺再生の会」を立ち上げ、老骨に鞭打って、行政、商工会議所、全てを巻き込んで頑張っておられる状況。その中で、当クラブも1つになりながら何かしていきたいと思っております。

本年度の「事業計画」は、中井ガバナーから「よく見てよく聴いてよく話し合い、楽しいRCを運営してください」とご指示頂いた。「変革 継続 簡素 充実」を力説される中井ガバナーは、総費用7500～8000万の地区事業費を半分削ぎながら努力されている。我々も見習って、経費削減等しながら充実した運営が出来ればと思う。

本年度は5つの計画。1つは委員会活動。委員長お任せではなく、委員会を多々開き、いろんな意見を集約してもらいたい。補助金も出す。印刷物の配付を止め、メール活用。財団へは7月、既に3名が寄付。「スピードの細田」と有名で、小谷野SAA、細田(吉)委員長、私がさせて頂いた。安藤年度3名が増強。委員長だけでなく、会長幹事、会員全員が情報を交換しながら動かなければ増強には至らない。明日3日、ある事業所に説得に。アクションを起こさなければ成果に結び付かない。結果は改めてご報告します。5番目は50周年。半世紀のけじめをしっかりと付けるべく、中里昌)実行委員長をサポートしながら、他に負けない良いクラブであることを誇示出来るような会にしていきたい。

#### ●クラブ奉仕委員長／神田康夫

クラブ奉仕委員会は、出席、プログラム、ロータリー情報、親睦活動委員会をもって組織。かつて高橋福八ガバナー(本庄)が「ロータリーは親睦が8割、奉仕

は2割」と言った事を鮮明に覚えている。名栗での夜間例会は吉田(行)親睦活動委員長に運営して頂いた。今月、東京での夜間例会も楽しみにしているところ。市川(昭)プログラム委員長とは「毎週例会で忙しい会員を1時間拘束するわけだから、面白くてためになる例会をしなければ会員にとって失礼に当たる」と話している。意義のある例会をすれば出席率は自ずから良くなる。R情報委員会は歴代パスト会長が委員をしますので、お任せすればちゃんとやってくれるだろうと思う。私はクラブ奉仕委員長という名の他に「クラブ管理運営委員長」という役目も頂いているので、吉田会長の方針に基づきながらその点も務めたい。

#### ●職業奉仕委員長／増島宏徳

日高の高木委員長がお話されたので、ほとんどお話しする事はないが、ポール・パーシー・ハリスも「creedではなくてdeed、“信条”ではなく“やる事”なんだ」というお話をしているので、今年度やる事をお話したいと思う。来週『我等の生業』に投稿された当クラブの3名の方に卓話をして頂く。四つのテストは自己反省を求めるため月1回やる。ただ職業をしているだけではいけない。ethicsをもって自分を律し職業を真面目にやり、そこで得たスキルを他人助けるために使うという事。長くなりますので以上です。

#### ●青少年奉仕委員長／大野 康

青少年は未来への希望。青少年をどう育てていくかはどのような社会を残してあげられるかと並び大人達の大切な役割。「新世代」は「青少年奉仕」に名称が変わったが、これはRCが青少年と共に歩む決意表明では。そこで今年度、1)青少年に関わる諸団体と連携しながらその健全な育成を支援。2)青少年にRCの理念や役割を深く理解してもらい、未来を担う人材育成を行う。RIが求めているのはこの辺りか。3)RCで青少年にどんな社会を残したら良いか議論を深め社会に提言する。9/4担当例会でグループディスカッション「未来に遺したい飯能とは」を実施。未来を担う青少年達にどのような飯能を遺してあげたいか遺すべきか議論する事が今後、元気の飯能をつくり上げていく上での出発点になると考えた。20年後、50年後、元気になった活気ある飯能で「あの例会が出発点だったよね」と言われるようなものにしようとした。「文化・自然・建物・場所・景色・考え方・しくみ・組織・人」等、さまざまな意見が出され、まずは自分達の良いところを再発見、再認識する事が大切という話になった。今後、いろんなところに情報発信していきたい。

#### ●社会奉仕委員長／杉田一昭

「変革 継続 簡素 充実」私もそのように思う。1つは、他の奉仕団体との支援協力。2つ目、「立ち上がれ飯能プロジェクトチーム」を作られた武田様に先月卓話を頂いたが、このチームには学校の先生、お坊さん、美容師等、さまざまな方がおられる。(録音中断) 岩沢の

入間川沿いにRCが植えた30数本の桜があるが、手入れされておらず、逆に景観を損なうようになっていく。プロの方をお願いするよう経費等について次回理事会で検討して頂きたい。草むしりくらいなら「奉仕プロジェクトチーム」として出来る。大野、小崎委員長、私で3名、3委員会合わせても8名なので、その時は皆様のご協力をよろしくお願い致します。

### ●国際奉仕委員長／藤原秋夫

不幸な人、恵まれない子ども達を幸せで平和な生活が出来るようにするのが国際奉仕だと思ふ。入会して8年、古い事は分からないが、50年間いろんな形で国際奉仕をされて来たと思う。この50年を節目に変革の年にしたい。外へ出て行って実際に自分の目でいろんな国の子ども達を見て、何を必要としているかを見て、相談して奉仕出来ないか、今計画している。先日新聞にO・ハッピーバーンの記事が載っていた。病気になり晩年の5年間は子どもの命を守るため世界を駆けずり回ったとの事。それに賛同した人達が今大勢居り、志を通して活動している。ドラマ『パートナー』を感動しながら見たが、私も奉仕活動の原点に戻って活動したい。駿河台大学留学生で米山記念奨学生のリン君のベトナムに今年度、一度伺って、奉仕出来ないかと計画を立てている。震災の件も自分の目で見て違ってくる。予算の組み方や節約等の考え方も変わってくると思う。皆さんと一緒に歴史に残るような奉仕をしたい。これからもよろしくお願い致します。

### ◎中井眞一郎ガバナー講評

飯能市の歴史を含めてお話を頂戴致しました。人口的には本庄、東松山とほぼ同じ。そちらでは3クラブなり複数クラブがある中で、飯能は1クラブで頑張ってきた。今年から出来た「衛星クラブ制度」は仮クラブのようなもので、新しく拡大する前の準備段階のクラブを認めるようにしたものです。ご検討をお願いしましたが、これまでの伝統を踏まえて飯能なりのやり方をやって頂ければと思っております。来年50周年という節目を迎えられ、準備は大変な事もあるかと思いますが、中里(昌)委員長にご尽力を頂き、1年間充実したご準備をして素晴らしい50周年、そして100年に向かって活躍をして頂ければと思っております。

飯能市の再生も行政だけでは出来ない。多くの諸団体との協力も必要でしょう。RCはそのリーダーとなって頑張る。素晴らしい事だと思います。シャッター通りを直したいと思っても簡単には行きません。ロータリアンがご自分のお仕事をまず一生懸命やって頂く。当たり前ですがそのような地道な努力を重ね、さらに職業倫理を高めて頂く事で、「ああいう人がいるところには入りたい」と思われるようなRCになって頂きたい。やや残念な事に、無理やりと言うか、「会員選考」という委員会があっても有名無実化しているところが多い。その中できちんと会員選考し、これはと

思ふ方に入って頂き、且つ50名を維持している事自体、大変な事だろうと思っております。坂戸3クラブ合同で、「何人位がクラブの人数として適当だろうか」という話があり「40名位」という声が多かったように思います。私としては出席率の事を考えると「50名程度」で、常時40名位の方が例会に参加されている、例会に行けば40名の方に会えるという方が良いでしょうと申し上げた。こちらは一時70名位居られたようにも思いますので、居心地が良い事に安住せず、増強にも力を入れて頂きたい。

「未来に遺したい飯能」についてお話頂き、子ども達に伝えていく。これは重要な事です。地区では「職業奉仕分野」に所属していた「高校生の社会体験事業」を、受益者が青少年という事で「青少年部門」に移しました。青少年分野で4活動。職業奉仕を軽んじたのではなく青少年奉仕を重視するというつもりです。

国際奉仕に関しては、本年度、地区で懸案となっておりますのは「日豪青年相互訪問事業」を復活させるかどうか。これまでいろいろな問題点がありましたのでそれをクリアしながらやっていきたい。こちらの国際奉仕委員会にもご意見を頂きながら進めたい。

お話が出た、ロータリーが作った看板で怪我人を出すという事は非常に困りますので、そういう事の無いように是非お願いしたい。私の方で言っている危機管理は主にセクハラ、パワハラですが、文字通り「事故」になってはなおります。お金がかかるのは申し訳ありませんが、よろしくお願いしたい。

米山等にも関連しますが、ややもすると韓国、中国の留学生が多い中、ベトナム、ミャンマーなりに目を向けて頂く事は必要であろうと思っております。

バランスのとれたクラブを維持、発展させて頂く。日高を始め近隣クラブの模範となるよう飯能クラブにご活躍頂き、50周年を機にさらに発展されますようお祈りをして、講評ではありませんが話とさせて頂きます。

有難うございます。



※次週の例会案内は省略。